

(活動報告書様式)

団体名	特定非営利活動法人 公益のふるさと創り鶴岡		
事業名	鶴岡市を流れる内川の環境調査および啓蒙活動による親水空間の場づくり事業		
助成事業区分	協働助成事業（テーマ希望型） 【テーマ：山形県自動車販売店リサイクルセンター 山形から発進！未来へつなぐ循環型社会づくり支援事業】		
団体の 所在市町村	鶴岡市	事業費	523,197 円
		うち助成金額	450,000 円



【事業目的】

鶴岡市の中心地を流れる内川を通して、自然環境保護、景観保全、歴史的・文化的な資源の発掘とこの地域のまちづくり、人づくり、青少年の育成に資することを事業目的とする。

そのため、河川清掃、水質・生物調査などの活動を継続的に行うものとする

【事業内容】

①鶴岡高専との協働にてゴミ指標調査および水質調査実施

鶴岡市 鶴園橋より川底のゴミを拾い分類・指標調査。内川 上流域・中流域・下流域での水質調査。

報告書作成 鶴岡高専佐藤司研究室

②水棲昆虫調査

内川区間をフィールドに昆

虫調査

報告書作成 ミズノリサーチ

③魚介類調査

内川 上流域・中流域・下流域での魚介類調査。

報告書作成 オフィススカッケン

④紹介資料の作成（広報活動の一環として実施）

環境活動について、現在の内川についての紹介資料の作成・流域家庭に配布した。

【事業の効果】

内川の水質・ゴミ指標調査を行った結果、不法なごみ投棄やポイ捨ては減少しているが、建築物の破片(雨どい)や農業資材(マルチシート・肥料袋)などのゴミが目立った。今後の対策として、大風などによるごみの飛散防止の手立てを講じていく

ことが求められる。水質については改善傾向にあり、それに伴い河川環境も良好になり昆虫・魚類の種類・生息数も増えていることが分かった。良好な河川環境を維持するためにも市民向けの啓発活動が続けることが必要であると感じている。

【今後の展望】

鶴岡市の中心部を流れる内川は、城下町鶴岡の歴史、文化、景観、観光等の重要な地域資源に位置付けられている。今後も調査活動を継続することで、そのこと自体が風物詩となり、また紹介資料を作成したことで市民や鶴岡を訪れる人たちが川に目を向ける機会を増やし、親しまれる親水空間となることを期待している。